

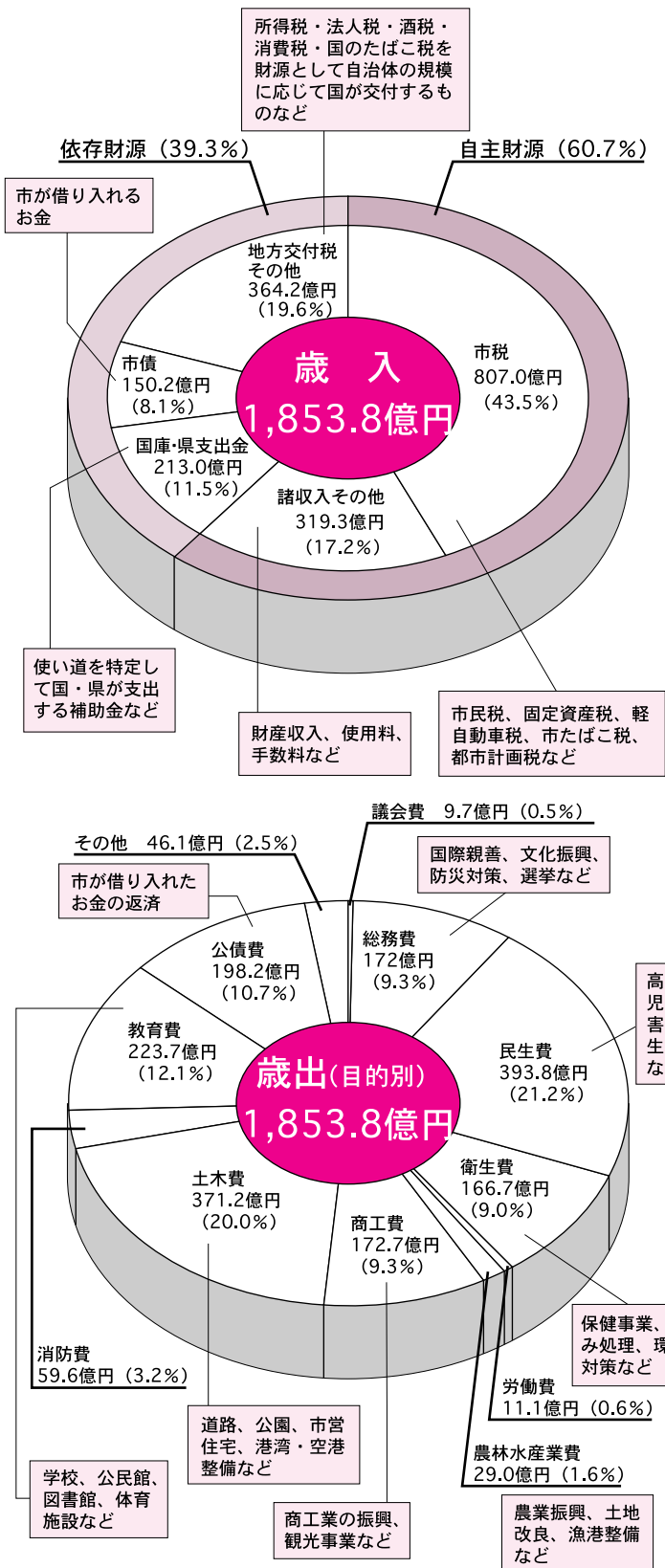


12年度予算案

福祉・教育・雨水対策など推進

一般会計で前年並みを確保  
特別会計

一般会計予算案の内訳



各会計別予算

一般会計	1853億8000万円
特別会計	1328億5678万円
国民健康保険事業会計	303億4779万円
国民健康保険事業の運営	
下水道事業会計	415億9906万円
公共下水道・農業集落排水の整備と管理運営、雨水対策、下水処理場の管理運営など	
中央卸売市場事業会計	10億3179万円
市中央卸売市場の管理運営、総合卸売センターの建設	
老人保健事業会計	413億9323万円
老人保健事業の運営	
介護保険事業会計 (新設)	167億1504万円
その他	17億6985万円
と畜場事業会計、土地取得事業会計	
工業用地開発事業会計	
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	
計	1328億5678万円
病院事業会計	161億4907万円
市民病院・大山台診療所の管理運営	
水道事業会計	148億8690万円
計	3492億7276万円

(千円以下切り捨て)

市では、現在開会中の3月定例会市議会に、一般会計と9特別会計、病院・水道事業会計の平成12年度予算案など64議案を提案しています。平成12年度当初予算案は、一般会計予算の総額で1853億8000万円、11年度当初予算に比べて5・5%減となっていますが、一般会計と特別会計を合わせた予算規模では、ほぼ前年並みとなっています。12年度予算は、介護保険制度がスタートする機会を捉えて、介護サービスをはじめとした福祉施策を大幅に拡充。これまで市政の最重要課題としてきた「福祉」「文化」「環境」、さらには「活力ある産業づくり」「魅力と活力に満ちた新潟をつくるまちづくり」「行財政改革の推進」の6つを柱とした内容となっています。(平成12年度予算は、3月定例会市議会で現在審議中です)

紙面紹介

〔2・3面〕

4つの都市像ごとの  
予算概要

〔4面〕

建設が進められる主  
な施設

21世紀へ向けて着実な前進を



新潟市長

長谷川 義明

平成12年度は、年明けに21世紀を迎える記念すべき年であり、その幕開けに黒崎町と合併することは、本市の歴史に新たな1ページを加えることができるものと期待しております。

12年度予算編成にあたっては、市税収入が3年連続して減少するという厳しい財政状況の中、昨年来、行財政改革に取り組み、事務事業の見直しや経常経費の削減に努めながらも、市民が真に必要とする施策につきましてもさらに拡充し、予算を重点的に配分いたしました。また、景気は緩やかに改善の方向に向かっているようですが、市民生活の安定と地域経済の活性化にもできる限りの配慮をいたしました。

予算の内容としましては、介護保険の円滑な実施と保健福祉施策の総合的な推進をはじめ、これまで市政の最重要課題と位置付けてきた「福祉」「環境」「文化」について、引き続き重点的に取り組まれました。また、教育環境についても整備拡充するとともに、新しい助成制度を盛り込んだ雨水対策にも積極的に取り組んだところであります。

さらに、健全な財政運営にも留意し、市の借金に当たる市債発行額を圧縮するとともに、貯金である基金の取り崩しも最小限にとどめ、健全性を堅持した予算としました。

新しい世紀に向けて各施策の着実な前進を図り、市民の皆さんと共に市政の発展に努めてまいりたいと思っております。なお、いっそうのご協力をお願いいたします。